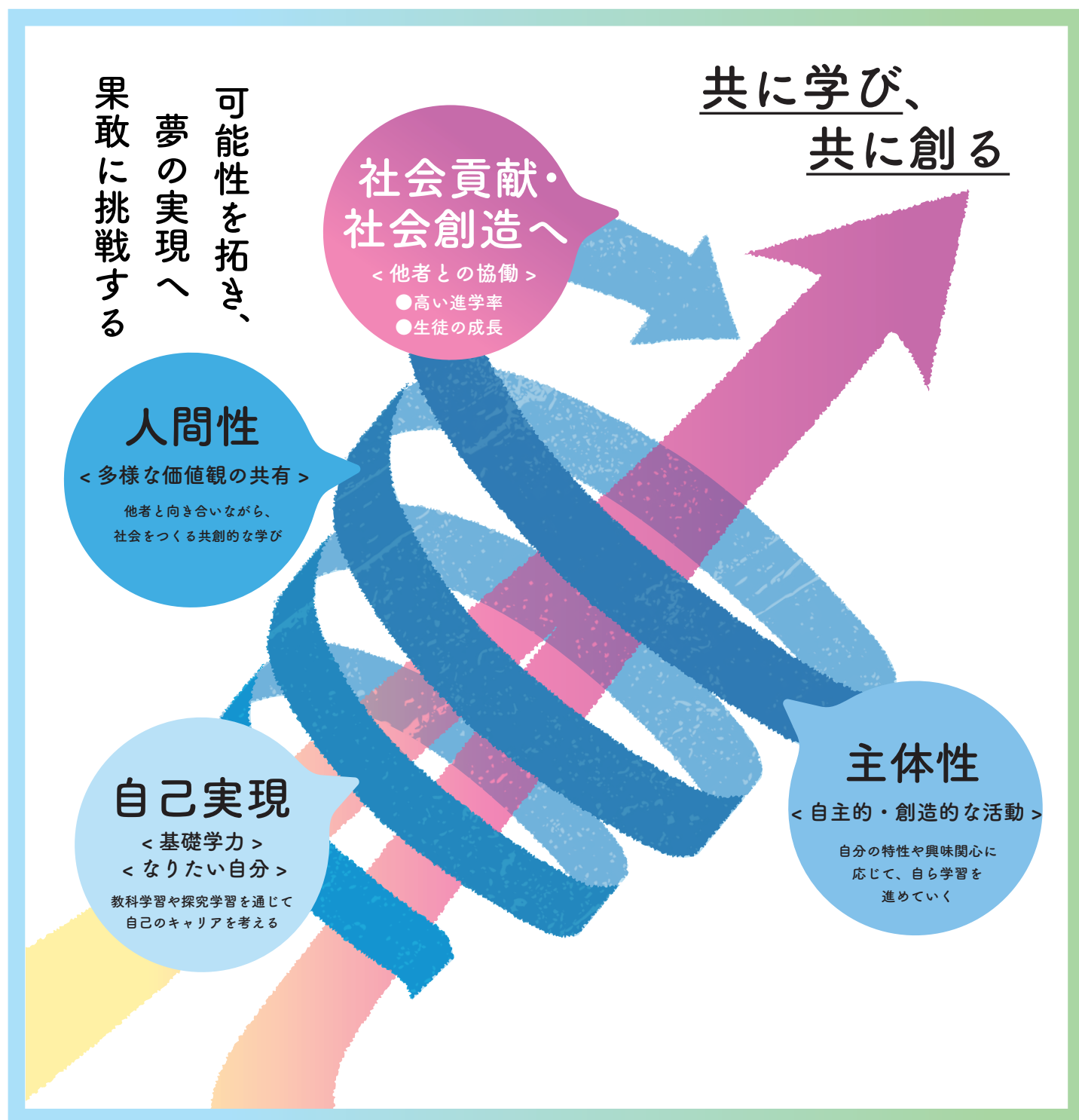


令和10年、伊那新校（仮称）開校！



学びが大きく
変わります

- くくり募集 → 入学してから学科が選べる（現在検討中）
- 単位制の導入 → 個別の進路に対応した学びの実践
- キャリアデザイン → 探究を核とする学びを通じた進学・進路の実現
- 未来への探究 → 他者と連携し、自らの可能性を切り拓く
- 2校が統合 → 伊那北高校校地に新校舎を建設

新たな学びと成長に対応したシステム

受検時の変革

くくり募集 (検討中)

基礎学力

なりたい自分

学ぶ意欲

くくり募集とは？

・入学時に普通科か特色学科かを選択しないで、一括して募集するものです。

・入学後に共通科目を学びながら自分の将来の進路と興味・関心、能力・適性を考えて、2年生に進級する前に学科を決定することができます。

くくり募集のメリット

個々の特性・学習進度など状況に応じた進路希望への細やかな個別対応や工夫が可能

- 「探究」をベースにした教育活動
- 大学・研究機関・企業・自治体などと協働した学び
- 個別最適な学びを実現する「単位制」
- 文理融合した学び・教科横断型授業の展開

自ら学習を進めるためのコンテンツ



幅広い進路

多様な進路へのマッチング ハイレベルな進路

最難関国公立大学

海外大学・留学

医学科

国公立大学

私立大学

短期大学

専門学校

起業

就職

大学入試では「一般選抜」だけでなく、学びの意欲を評価する「学校推薦型」「総合型」選抜での進学も十分可能。

進学型単位制による多様なモデル

- ・個別の進路に対応した学びと多様な「マッチング」
- ・少人数講座などの実現

連携・協働

上伊那共学共創コンソーシアム

医療機関

大学

企業

自治体

国際機関

上伊那広域連合

●普通科 探究を核として持続的な学びを実現する学科

地域課題を基に日本、世界に目を向け、これからの社会の核となる人の育成を目指す。

★地元自治体など、コンソーシアムとの連携による、ローカルな視点とグローバルな視点で行う探究活動

★自らの興味関心や進路希望に応じて選択ができる多様な科目（単位制）の設置

●特色学科 高度な探究により、卓越した学びを実現する学科

学問の真理を追求する意欲、社会の課題解決への挑戦心や使命感を持つ人の育成を目指す。

★大学・研究機関をはじめ、コンソーシアムとの連携による、応用的・発展的な探究活動

★課題研究や先進的な探究を行う科目、高度な内容を扱う科目などの設置

●個別最適な学びとは？

一定の目標を全ての子どもが達成することを目指し、異なる方法などで学習を進める「指導の個別化」。そして、異なる目標に向けて、学習を深め、広げる「学習の個性化」の2つに分けられます。伊那新校では生徒の興味・関心に応じて、個別の進路に対応した学びが進められるようなカリキュラムを検討しています。

●上伊那共学共創コンソーシアム

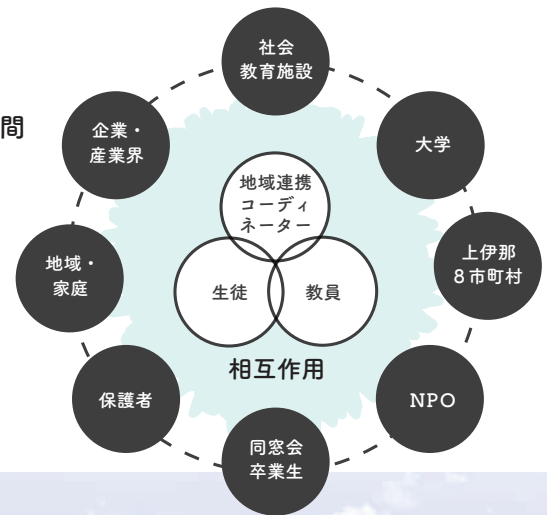
地域の様々なセクターと協働することで、学校の中だけでは実現できない実践に基づく多様な学びに取り組みます。地域とともに課題の解決や未来へのイノベーションを創出するコミュニティです。

●探究学習とは？

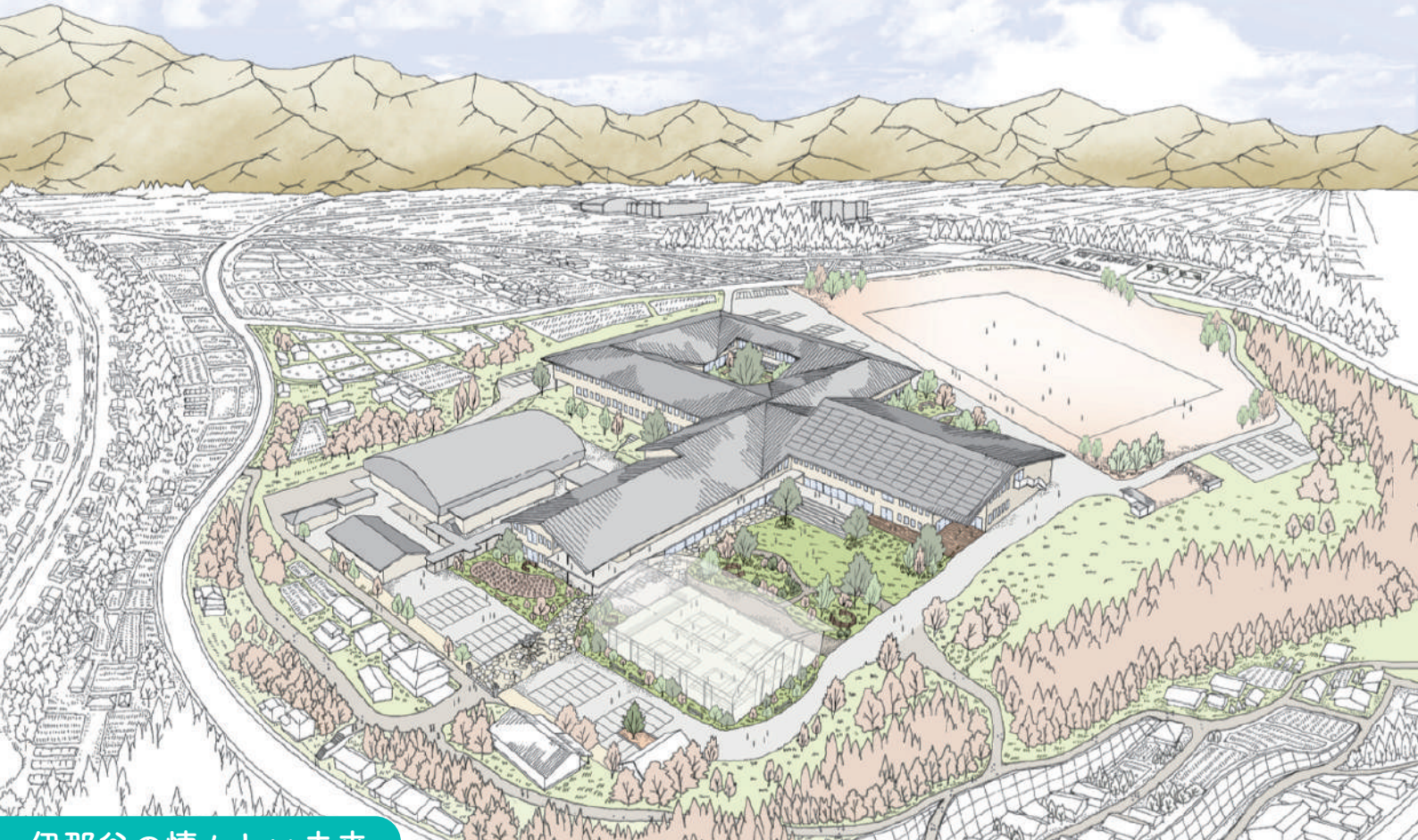
探究学習は、自ら問いを立てて、それに対して答えていく学習です。教科における、教師が立てた問いを生徒たちが正解を探すのではなく、自分自身で問いを立てて、その答えを出したいという「探究心」を大切に、学習を進めていく方法です。

新校舎のポイント

- 山並みの風景と調和し、生徒たちの活動を支える大屋根
- 鳥や虫、植物も生息でき、自然と共生できる社会を目指す
これからの子どもたちが、地域の自然の豊かさを感じられる屋外空間
- 校舎の大部分を地域の木を多用した木造建築とし、CO₂を固定化環境と地域経済の循環モデルとなる
- 上伊那共学共創コンソーシアムの活動が円滑に進むように、来客は学校に来やすく、学校は受け入れやすい機能配置
- 生徒の多様な学びをおおらかに受け入れ、多様な活動を展開しやすい内部空間
- 全ての学びの礎となる学力を支える充実した講義室と特別教室



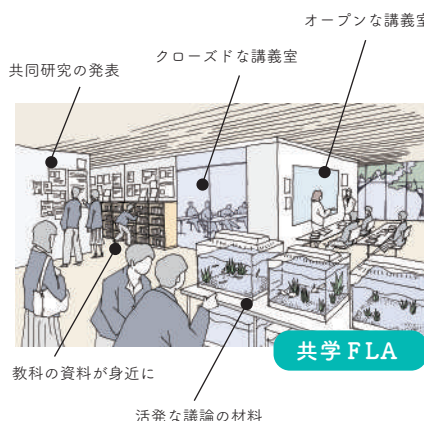
共に地域で学ぶコンソーシアム



伊那谷の懐かしい未来

伊那谷を見渡せる丘の上に立つ伊那新校。上伊那を仲間と共に俯瞰し、地域を身近な材料として学び合い、実感し、自らの進路に活かす「新しい学び」を支える校舎となるために建築的な多くの提案を盛り込んでいます。

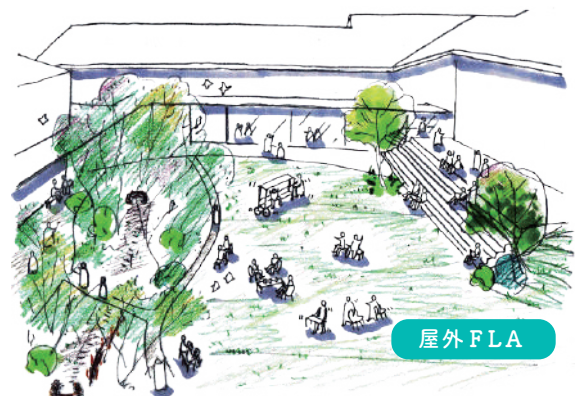
※図は基本計画時のイメージです ※FLA=フレキシブルラーニングエリアの略



共学 FLA



共創 FLA

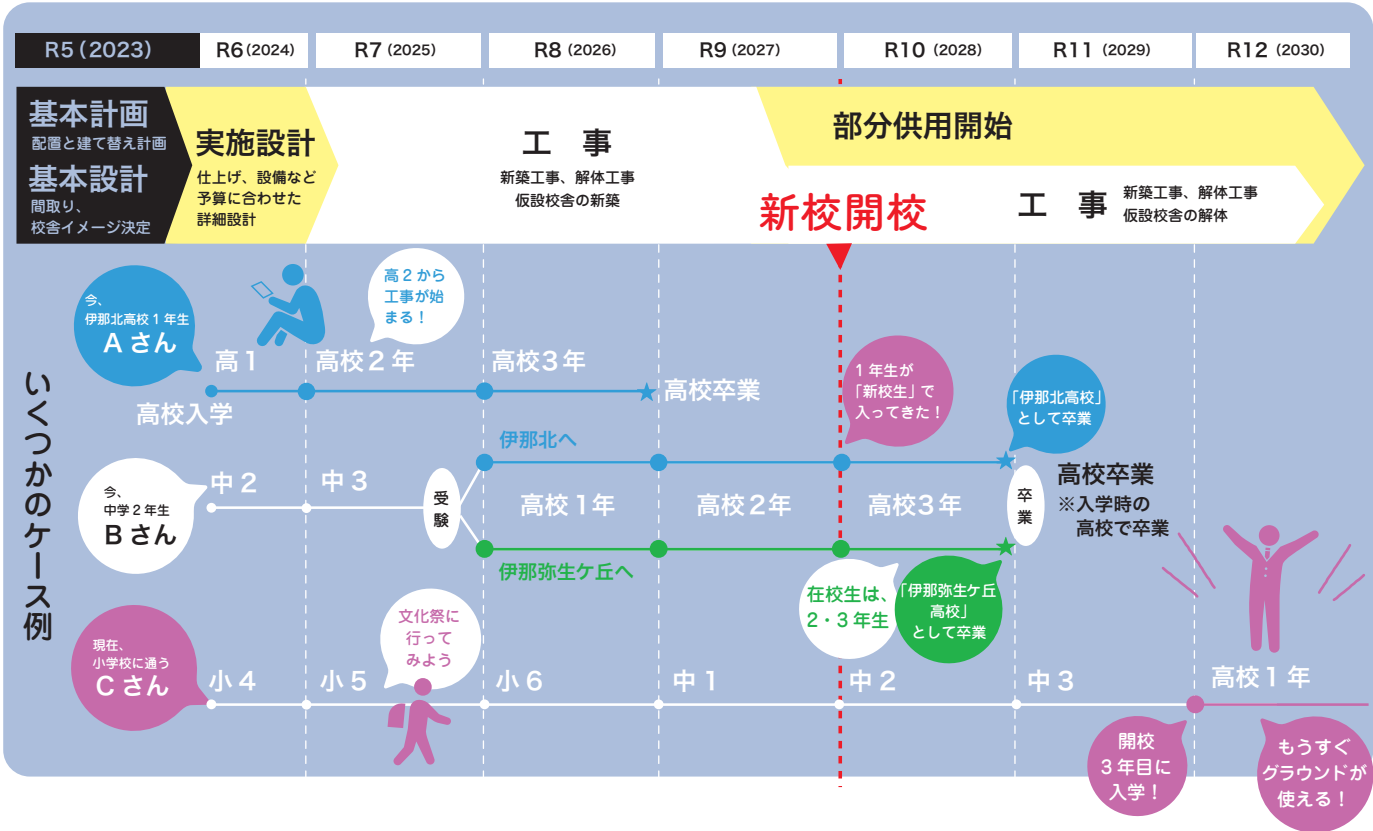


屋外 FLA

2校が統合し、伊那北高校校地に新校舎を建設

R10年度開校に向けて、伊那北高校校地ではR7年度から工事が始まります。校舎という目に見えるかたちで開校へ動きだすと同時に、学びのあり方も伊那新校（仮称）が目指す新しい visionへと変化していきます。

1. 校舎整備に伴い、R6年度現在の
高2から小4までの児童・生徒は校舎整備期間中の在学となります



2. 校舎整備スケジュール（R6年11月現在）

年度	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)
既存校舎解体(1) プール／小体育館／音楽室／調理室ほか		解体工事					
仮設校舎(1) 音楽室／調理室ほか		新築工事			仮設校舎を54ヶ月利用		解体
新築校舎建設(1) 西棟			新築工事		新校舎の利用開始(西棟のみ)		
仮設校舎(2) 管理教室棟ほか			新築工事		仮設校舎を36ヶ月利用		解体
既存校舎解体(2) 北校舎／中校舎／南校舎ほか				解体工事			
新築校舎建設(2) 南棟／東棟／小体育館					新築工事		利用開始
グラウンド整備 外構／舗装／植栽ほか							整備工事

※上記スケジュールは検討中のものです

3. 工事中の各校の学びの特徴・施設整備の状況

伊那北高校

- 新しい学びを取り入れる
- 両校での部活動の協働
- グラウンドは使用できない
- 工事あり※
- R9年度より新校舎の一部が利用可能

伊那弥生ヶ丘高校

- 新しい学びを取り入れる
- 両校での部活動の協働
- 工事なし

※騒音・粉じん等対策を行いながら工事を進めます